キャラクター名
風見遥人

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGN支部長D	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16	性別	男
覚醒	素体	衝動	妄想	初期侵食率	74 %
出自	双子	経験	平凡への反発	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	0		1	1
感覚	0	0	0		1	1
精神	6	0	0			6
社会	2	1	0		1	4

HP	9
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
特殊プラスチックシールド		0		1		ガード４　命中－２　あさぎに譲渡済み

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：手配師	
コネ：要人への貸し	
携帯電話	
ウェポンケース	
コネ：UGN幹部	
特殊プラスチックシールド	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
竜帝バハムート	P 好奇心	N 脅威		
双子：風見千紘	P 庇護	N 憐憫		
ＰＣロイス　京野	P 連帯感	N 不安		
セーラ	P 庇護	N 不安		
犬飼あさぎ	P 懐旧	N 無関心		
	P	N		
Dロイス　実験体	P	N		

最大財産P:	12	残り財産P：	4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
アドヴァイス	1	4	メジャー	視界	単体	自動		
効果：対象の次のメジャーのＣ値-1（min6）、判定ダイス＋Ｌｖ								
戦術	5	6	St	視界	シーン選択	自動		
効果：このラウンドの間 対象（自分以外）のメジャーのダイスを+LV								
ファンアウト	1	4	St	至近	範囲選択	自動		
効果：自分以外の対象は戦闘移動　1シナリオレベル回								
ラストアクション	1	5	MJ	至近	自身	自動	100↑	
効果：戦闘不能になったらメインプロセス　１シナリオ１回								
常勝の天才	5	6	St	視界	シーン(選択)	自動	純	
効果：ラウンド間 対象の攻撃力+[LV*4]　自分は対象不可　１シーン１回								
妨害排除	1	3	Au	視界	単体	自動		
効果：対象の判定時に使用。その判定はダイス減少効果無視１シナリオLv回								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

『あいつが、全部悪いんだ』
そう呪いながら、結局父は自殺しました。
『必ず迎えにくるから』
そう言いながら、結局母は僕たちを捨てました。
その時から、千紘だけが僕のたった一人の家族。
力がなければ、守ることは出来ない。賢くなければ世間は渡れない。
だから…

父親は会社の借金を負わされて自殺、母親は子供を孤児院に預けて蒸発。
身内は一緒に預けられた双子の弟、千紘のみの境遇で育つ。これが大体二人が１０歳頃の話。
弟の千尋を溺愛していて、面倒は自分が見ていかなくてはならないと思っており、
さらに両親は平凡で力がないから、無能だったから大切なものを手放すことになったと、反面教師的に考えている。
孤児院に入りたての頃はものすごく肩肘張ってて、弟を守らなきゃと逆にこっちがべったりしていた勢い。
そんな心身ともに不安定だったころに、孤児院でとある喋れない少年と知り合う。
幼く、まだ家族で暮らしていた頃に落した、玩具のオルゴールを拾ってくれていた、そんな少年だった。
本人としては、幼すぎて落したこともつい最近まで忘れてたレベルに、特に思い入れのある品ではないので、彼にそれは譲る。
そんな関わりがあって、孤児院でできた初めての友達は話せないその少年だった。

性格は基本的に外向的で親身、明るく人の前に立つ存在ではあったものの、ある意味それは取り繕ったもの。
本心としては周りに裏切られることや、自分の無力さで弟を守れないことに怯える少年である。
ざっくり言えば、頑固で人間不信、いい人を演じることで傷つくことを回避しようと考えるちょっとずるい子。